

会 議 録 (要 旨)

会 議 名	第 2 7 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 5 回		
事 務 局	公民館本館		
開 催 日 時	令和 4 年 1 2 月 6 日 (火) 午前 1 0 時～午前 1 1 時 4 0 分		
開 催 場 所	公民館本館 学習室 B		
出 席 委 員	近江委員 大木委員 菅沼委員 照井委員 藤原委員 武藤委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	大久保 落合 金子 近藤		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
	<p>1 公民館運営審議会の報告</p> <p>2 主催事業について (終了報告、実施計画、途中経過等)</p> <p>(1) 市民講座「短い時間でパパっときれいに！家事効率化のための片付け講座」について</p> <p>(2) 成人学校「THE BEATLES～研究家が追いつける魅力とは～」</p> <p>(3) 成人学校「“郷土かるた” で小金井をもっと知ろう」について</p> <p>(4) 高齢者学級「生きがい広場」について</p> <p>3 その他</p> <p>(1) 第 5 9 回東京都公民館研究大会について</p> <p>(2) 公民館企画実行委員とは</p>		

会 議 結 果

司会：大木委員

1 公民館運営審議会への報告

- ・令和4年11月9日（水）午前10時～11時45分 801会議室
- ・都公連委員部会
- ・公民館事業の報告及び公民館事業の計画

2 主催事業について

- (1) 市民講座「短い時間でパパっときれいに！家事効率化のための片付け講座」について
実施要項に基づき、事業の内容を説明した。
- (2) 成人学校「THE BEATLES～研究家が追いつける魅力とは～」
実施要項に基づき、事業の内容を説明した。
- (3) 成人学校「“郷土かるた”で小金井をもっと知ろう」について
事業内容の最終確認を行った。
- (4) 高齢者学級「生きがい広場」について
最終回（ハンドベルコンサート、まとめの会）の内容・進め方を説明した。

3 その他

- (1) 第59回東京都公民館研究大会について
当日の内容、参加方法等の説明を行った。
- (2) 公民館企画実行委員とは
菅沼委員作成資料をプロジェクターで投影し、菅沼委員自ら解説を行った。

第27期公民館企画実行委員の第5回会議

令和4年12月6日（火）午前10時～

@公民館本館 学習室B

1 公民館運営審議会への報告

令和4年11月9日（水）午前10時～11時45分 @801会議室（第二庁舎8階）

(1) 都公連委員部会

令和4年10月27日（木）午後2時～4時10分 @国分寺市本多公民館

委員部会第1回研修会（10/1）を振り返って

(2) 公民館事業の報告（資料①）及び公民館事業の計画（資料②）

2 主催事業について

(1) 市民講座「短い時間でパパっときれいに！家事効率化のための片付け講座」

（資料③）

(2) 成人学校「THE BEATLES～研究家が追いつける魅力～」（資料④）

(3) 成人学校「“郷土かるた”で小金井をもっと知ろう」（資料⑤）

(4) 高齢者学級「生きがい広場」（資料⑥）

3 その他

(1) 第59回東京都公民館研究大会について（資料は11/21付け送付済み）

(2) 公民館企画実行委員とは（資料は当日配布します。）

次回、令和5年1月17日（火）午前10時～ 開催予定

公民館事業の報告

公民館名	事業名	頁	
貫井南分館	市民講座「男のための掃除道入門—お掃除への最初の一步」	1	
	成人学校「空手の形を体験してみよう」	2	
東分館	市民講座「トレッキング入門～安全な歩き方などの基礎学習から実践まで～」	3	
	成人学校	子ども子育て支援講座「簡単・かわいい！ハロウィン ラッピングワークショップ」	4
		「『自分は大丈夫』は通用しない！消費者トラブル・高齢者のヒヤリ・ハット事故を防ぐ」	5
貫井北分館	図書館貫井北分室・公民館貫井北分館連携事業「いのちを守るゲートキーパーになろう-ゲートキーパー養成講座-	6	

公民館事業の計画

館名	事業名	目的	事業の特色	日時	講師(敬称略)	定員	備考
本館	市民講座「親子でつくるおりがみリース講座」	折り紙を使って色鮮やかなリースを作り、親子の交流を深める。	過去の講座参加者の感想や公民館企画実行委員の意見をもとに、親子で参加できる講座を夏休み及びクリスマス・シーズンを目安に年2回企画している。	12/4(日) 午前10時～正午	渡辺由美子(クラフト脳トレーナー)	8組(多数抽選)	
	第552回市民映画会「トムとジェリーのアカデミーコレクション」	「見せる映画から観る映画へ」をモットーに生きがいとふれあいの文化創造の広場づくりをめざす。	偶数月の第三土曜日に、様々な年齢層を対象に年間6回実施している。	12/17(土) ①午前10時～ ②午後2時～	—	各回40人(先着順)	貫井北分館
貫井南分館	成人学校「一富士二鷹三茄子 水引細工の正月飾り」	ものづくりを通して地域コミュニケーションを図るとともに、小金井市のふるさと納税の返礼アイテムになっている水引細工に親しみを持ってもらう。	令和2年から貫井南分館の定番講座となっていて、子どもから高齢者までの参加となり、季節の縁起物を玄関などに飾り季節を味わってもらっている。	12/3(土) 午前10時～正午	小松慶子(水引デザイナー)	10人(多数抽選)	
	市民講座「私の、家族の、高齢期への備えを考えよう」成年後見人制度について学ぶ」	自分または家族など、介護が必要になった際に知っておくべき様々な制度を知るきっかけとして「成年後見人制度」の基礎を学ぶ。	市内在住の行政書士に講師として招く。	2/17(金) 午前10時～正午	久保晶子(行政書士)	20人(申込順)	
東分館	市民講座「車いす体験と、『だれでもトイレ報告書』から考える共生社会」	東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催により、都市インフラのバリアフリー化が進み、障害を抱える方や高齢者にとって暮らしやすい「バリアフリー社会」の構築への期待が、増々高まりを見せている。その一方で、世界でも有数の超高齢社会である日本では、今後も車いすを必要とする人口は増え続けると考えられており、車いす利用者にとって外出先でのトイレ利用は、尊厳に関わる深刻な問題であると言われている。車いす体験と、小金井市のだれでもトイレの現状などについて学習する機会を提供することを通して、共生社会への関心を高めることを目的とする。	ワークショップ形式を取り入れ、実際に車いす体験などを行い講座テーマを多角的に考える。	1/20・27(いずれも金曜日) 午後2時～4時	山崎舞佳(公益財団法人 日本ケアフィット共育機構)ほか	12人(申込順)	

館名	事業名	目的	事業の特色	日時	講師(敬称略)	定員	備考
緑分館	子ども体験講座「プロマジシャンに教わる親子で楽しむマジック教室」	親子でマジックを習い、家族間のコミュニケーションの一助にさせていただく。	親子のコミュニケーションに資するべく、優しく楽しい手品を学ぶ。学齢により手品の技量の差が大きいため、午前の部は低学年、午後の部は高学年を対象とした2部構成で行う。	1/15(日) 午前10時～正午 (小学校1年生～3年生) 午後2時～4時(小学校4年生～6年生)	ノーヴ・ハッセル・アベさん(マジシャン)	10組(20名)	参加費 1,000円(マジック道具代) 保育あり (概ね2歳以上)
貫井北分館	青年教育事業 青少年教育講座 若者による自主講座「回すとどうなる!?カラクリ箱をつくろう！」	創造力と理数力で問題を解決するSTEAM教育を取り入れて、参加者がオリジナルのカラクリ箱を創る。参加者同士がお互いの作品の良さを見ながらものづくりを行い、講師の大学生と参加者や参加者同士が講座を通して学年や学校を超えた交流を体験する。	地域の大学生が自主講座として企画・実施することで、チームワークの大切さや地域との交流を深める。	1/15(日) 午後2時～4時	吉村健志(東京学芸大学サークルSTEAMer)	16人(申込順)	参加費 500円(材料費)
	成人学校 地域研究講座「こがねい散歩～埋もれた橋とその周辺～」	地域研究の一環として、昨年発掘された上貫橋や仙川・小金井分水、旧道などを講師からの解説を聞きながら学び歩く。	屋内での座学ではなく、実際に地域を歩きながら理解を深める。	12/4(日) 午前10時～12時30分	閑野寿幸(小金井市市史編纂委員会市民協力員)	10人(多数抽選)	2時間半程度歩ける方
	図書館貫井北分室・公民館貫井北分館連携事業「新春に平和を願う～語りとライアーの調べのひととき～」	冒頭、合間、終了時、新春に相応しい音楽をライアー(竖琴)による演奏聴きながら、小金井市貫井北町周辺の戦争痕を紹介と太平洋戦下における子どもたちの生活の講話を聞く。	図書館貫井北分室と公民館貫井北分館との連携事業。	1/18(水) 午後2時～4時	安井広子(「国立昭和館」次世代の語り部)ほか	30人(申込順)	

実施要項（案）

- 1 講座名 令和4年度市民講座
「短い時間でパパっときれいに！家事効率化のための片付け講座」
- 2 目的 実生活に役立つ効率的な片付け方や、家族のライフプランの立て方を学び、さらに充実した生活を送ってもらうことを目的とする。
- 3 日時 令和5年2月25日(土) 午前10時から正午まで
- 4 講師 いづか ゆうこ 飯塚 優子さん（整理収納アドバイザー）
- 5 場所 公民館本館学習室B
- 6 対象 市内の在住・在勤・在学で子育て中の20代から40代の女性
- 7 定員 20人（多数抽選）
- 8 参加費 無料
- 9 保育 5人（概ね2歳以上、要事前申込）
- 10 申込方法 2月10日（必着）までに往復はがき（1人1枚）またはEメール（1人1通）に住所・氏名（ふりがな）・年代・保育の有無（お子様の名前・年齢）・電話番号を明記し、公民館本館「短い時間でパパっときれいに！家事効率化のための片付け講座」係（〒184-0004小金井市本町2-15-11/メールアドレスk020499@koganei-shi.jp）
- 11 募集方法 市報2月1日号、月刊こうみんかん2月号、市ホームページ、チラシ、ツイッター
- 12 予算措置 市民講座講師謝礼
@8,000円×2時間×1回=16,000円
成人教育事業保育謝礼
@1,300円×3時間×2人×1回=7,800円
※保育は、きたまち保育サポーターに依頼する
- 13 企画実行委員 未定
- 14 担当職員 金子 康幸

保育
あり

令和4年度小金井市公民館市民講座



たまには
ひとりで
リフレッシュ

短い時間でパパッときれいに！ 家事効率化のための片づけ講座

心身ともにリフレッシュしてもらおうとともに
日々の生活に役立つ効率的な片付け方を学びます。
ぜひ、この機会にご参加をお待ちしております。

日時 2月25日(土) 午前10時~正午まで

場所 公民館本館学習室B

講師 飯塚 優子さん(整理収納アドバイザー)

参加費 無料

定員 20人(多数抽選)

対象 市内在住・在勤・在学で子育て中の20代から40代の女性

保育 5人(概ね2歳以上、事前申込み)


応募

2月10日(金) 必着までに往復はがき(1人1枚)
またはEメール(1人1通)に住所・氏名(ふりがな)
年代・保育の有無(お子様の名前・年齢) 電話番号を明記し、
公民館本館「短時間でパパッときれいに！家事効率化の
ための片づけ講座」係(〒184-0004小金井市本町
2-15-11/ メールアドレス: k020499@koganei-shi.jp)へ

飯塚優子さんプロフィール
Studio HAGA (スタジオハーガ) 代表
整理収納アドバイザー1級、
同2級認定講師 (NPO 法人ハ
ウスキーピング協会)
食品衛生責任者取得。
【合理的なキッチン収納術】
【住まいリセットセミナー】
【子育てママのお片づけコ
ーチング】などの講座を
Studio HAGA 主催セミナー、
公的機関、企業主催セミナー
で担当する。

問合先: 公民館本館 ☎ **042-383-1184**

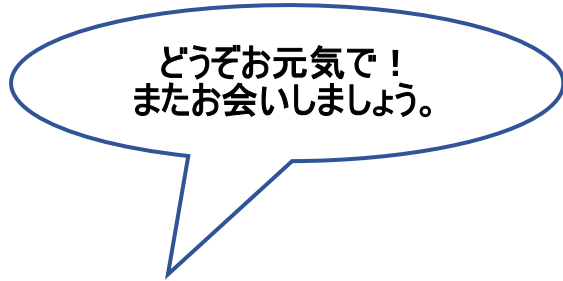
令和4年度成人学校「THE BEATLES～研究家が追い続ける魅力～」実施要項

- 1 目的 2022年デビュー60周年を迎えたビートルズ。研究家の視点から彼らの魅力を語ってもらうことで、音楽への興味関心をより深める。
- 2 日程 令和5年2月25日（土）午後2時から午後4時まで
- 3 内容 ビートルズの歴史や時代背景をたどりながら音楽と共に楽しんで学ぶ
- 4 講師 藤本 国彦さん（ビートルズ研究家）
- 5 場所 公民館本館 学習室B
- 6 対象 市内在住・在勤・在学の方
- 7 定員 30人（申込み多数の場合抽選）
- 8 参加費 無料
- 9 申込方法 1月31日（火）（必着）までに、往復はがきまたはEメール（連名不可）に住所・氏名（ふりがな）・年代・電話番号を明記し、公民館本館「ビートルズ講座」係（〒184-0004 本町2-15-11 / ☎k020499@koganei-shi.jp）へ。右記QRコード（下記URL）からの入力フォームでも申込可。
URL : <https://logoform.jp/form/pCd3/173374> まで。

- 10 周知方法 市報1月1日号、月刊こうみんかん1月号、チラシ、ポスター、市公式HP、市ツイッター
- 11 予算措置 成人教育事業に要する経費
 - ・報償費（10・4・2・6・7）講師謝礼
@8,000円×2時間=16,000円（税込み）
 - ・使用料及び貸借料（10・4・2・6・13）著作権使用料
@275円×13曲=3,575円（税込み）
- 12 担当企画実行委員 照井 耕之助
- 13 担当職員 近藤 英里子

令和4年度成人学校「“郷土かるた”で小金井をもっと知ろう」実施要項

- 1 目的 市政施行50周年に制作された、こがねい郷土かるたを題材とし市内歴史や文化財などを身近に感じてもらいつつ、実際に訪れることで新しい発見をしたり地元地域への愛着をより深めてもらう。
- 2 日程 1回目：令和5年2月22日（水）午後2時から午後4時まで
2回目：令和5年3月 1日（水）午後2時から午後4時まで
（2日目雨天時3月 8日（水）午後2時から午後4時まで）
- 3 内容 1回目：郷土かるたも使いながら市内歴史や文化財などを学ぶ講座
2回目：実際に徒歩で市内散策をしながらめぐる
- 4 講師 織壁 哲夫さん（小金井史談会会長）
塚田 善久さん（小金井史談会副会長）
- 5 場所 1回目：公民館本館 学習室B 2回目：市内の野川周辺予定
- 6 対象 市内在住・在勤・在学で2時間歩ける方
- 7 定員 全2回20人（申込み多数の場合抽選）
- 8 参加費 無料
- 9 申込方法 1月27日（金）（必着）までに、往復はがきまたはEメール（連名不可）に住所・氏名（ふりがな）・年代・電話番号を明記し、公民館本館「郷土かるた講座」係（〒184-0004 本町2-15-11 / ☎k020499@koganei-shi.jp）へ。
- 10 周知方法 市報1月1日号、月刊こうみんかん1月号、チラシ、ポスター、市公式HP、市ツイッター
- 11 予算措置 成人教育事業に要する経費
報償費（10・4・2・6・7）講師謝礼
@8,000円×4時間＝32,000円（税込み）
- 12 担当企画実行委員 菅沼 七三雄
- 13 担当職員 近藤 英里子

令和4年度 公民館本館
生きがい広場 最終回



ハンドベルコンサート
and
まとめの会

(小金井市公民館本館にて)

ごあいさつ

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響が続き心配されました「生きがい広場」も、野外学習を含め無事に開催することができました。本日で最終回となります。参加者の皆さま、今年度の「生きがい広場」はいかがでしたでしょうか。

本日最後の学級では、皆さんで計15回を振り返り、印象に残った講座や感想などをアンケートにご記入いただきたく思います。

最後になりましたが、皆さまのご協力のお陰をもちまして、今年度の「生きがい広場」の最終回を迎えることができました。

ありがとうございました。担当者一同感謝申し上げます。

担当職員:近藤・大久保

担当企画実行委員:近江・大木・菅沼・照井・
藤原・武藤

本日の予定

《第一部》10時～
レインボーベルさんによる
ハンドベルコンサート

《第二部》11時～ まとめの会
1. 担当者より
2. アンケート記入
3. 皆さまより感想
4. 修了

令和4年度生きがい広場日程表 (振り返りにお使いください)

回	日程	内容	回	日程	内容
1	5/10	開講式、オリエンテーション、and 交通安全教室	9	9/27	【防犯】消費者被害について
2	5/24	【体育】パラリンピック競技ポッチャ に挑戦!	10	10/11	【歴史】北条義時について
3	5/31	【生活と環境】エシカル消費と SDGs	11	10/25	【野外学習】山梨忍野八海と 河口湖大石公園
4	6/14	【遠足】六義園	12	11/8	【音楽と映像】昭和の歌と小金 井の今昔
5	6/28	【自然環境】身近すぎて知らなかつた!?公園緑地の役割と魅力	13	11/22	【健康】お口の健康について
6	7/12	【健康】フレイル予防とシニア筋力 アップ教室	14	11/29	【美術】おとなのぬりえ教室
7	7/26	【暑気払い】落語を楽しみましょう	15	12/13	閉講式、ハンドベル演奏会、 and まとめの会
8	9/13	【文芸】筆ペンで己書を楽しもう			

会計報告

日付	内訳	収入	出費	残額
5/9	講師お茶代 12 本		1,010	
5/10	学級費 20 名 + 辞退者寄付 650 円	10,650		9,640
7/25	7/26 暑気払い飲み物 20 本		1,812	7,828
9/13	己書講座のハガキ用紙代		220	7,608
10/25	野外学習浅間神社ガイド代		1,500	6,108
12/	講師お茶代追加 8 本			
12/	12/13 閉級式お菓子代			
12/	社会福祉協議会へ寄付			
残額				0

以上のとおり報告します。

令和4年度「生きがい広場」 アンケート

今年度の「生きがい広場」はいかがでしたでしょうか？
今後の講座運営に活かすため、今年度受講された皆様にご意見を伺いたいと思います。

★印象に残った講座

--

★こんな講座を受けたい、のご要望

--

★全体を通してのご意見・ご感想

--

ご協力ありがとうございました。

公民館企画実行委員とは！？

本館企画実行委員の会議資料

日時 令和4年12月6日(火)

小金井市第35期公民館運営審議会委員

菅沼 七三雄

この資料は「令和3年度小金井市三者合同会議」並びに東京学芸大学の講演等で用いられた「公民館を育てる仕組み、支える仕組みを考えてみよう」の資料を基に事務局で抜粋したものです。

はじめに

基本認識

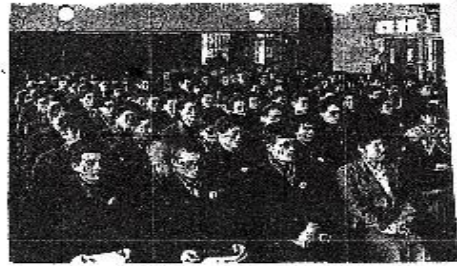
- ・公民館は社会教育の実践の場
- ・市民が自由につどい、学び、つながる地域の拠点
- ・公民館活動は、市民が主体
- ・学びが公民館活動の原点
(学び、対話を通して、新しいきずき、人づくり、仲間づくり、地域づくり)



* 公民館を一言で表わせば**多く**の人に、(学び・対話を通じて)**様々な可能性をもたらす場**

* 公民館は、地域住民とより住みよいコミュニティを作るための協同の場

参考：昭和29年5月発行・公民館だより(N01)より



成人式
29年/5/5
行われた

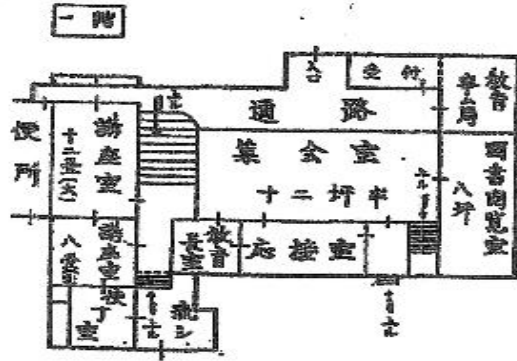


No. 1

東京都北多摩郡

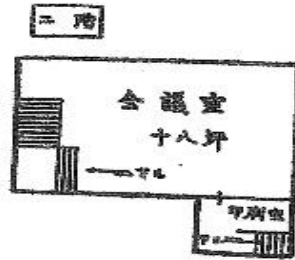
小金井町公民館

昭和29年5月



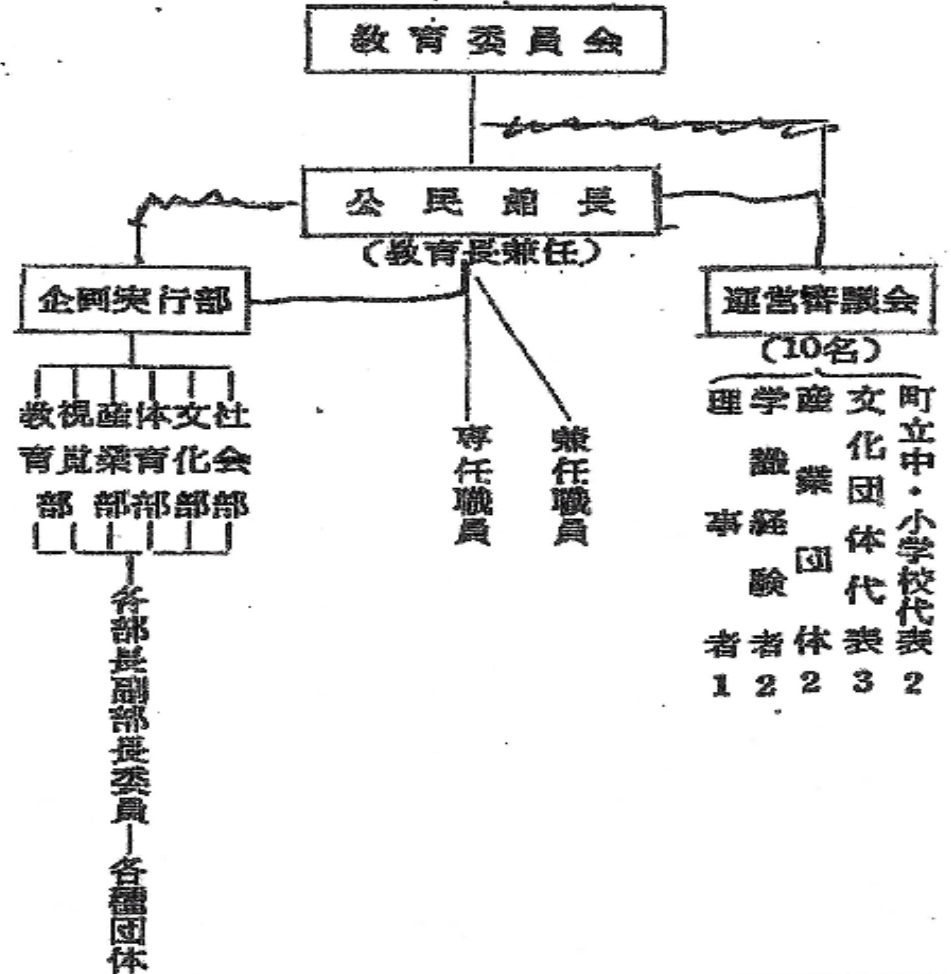
S=1:300

小金井町公民館現況見取図



成人学校

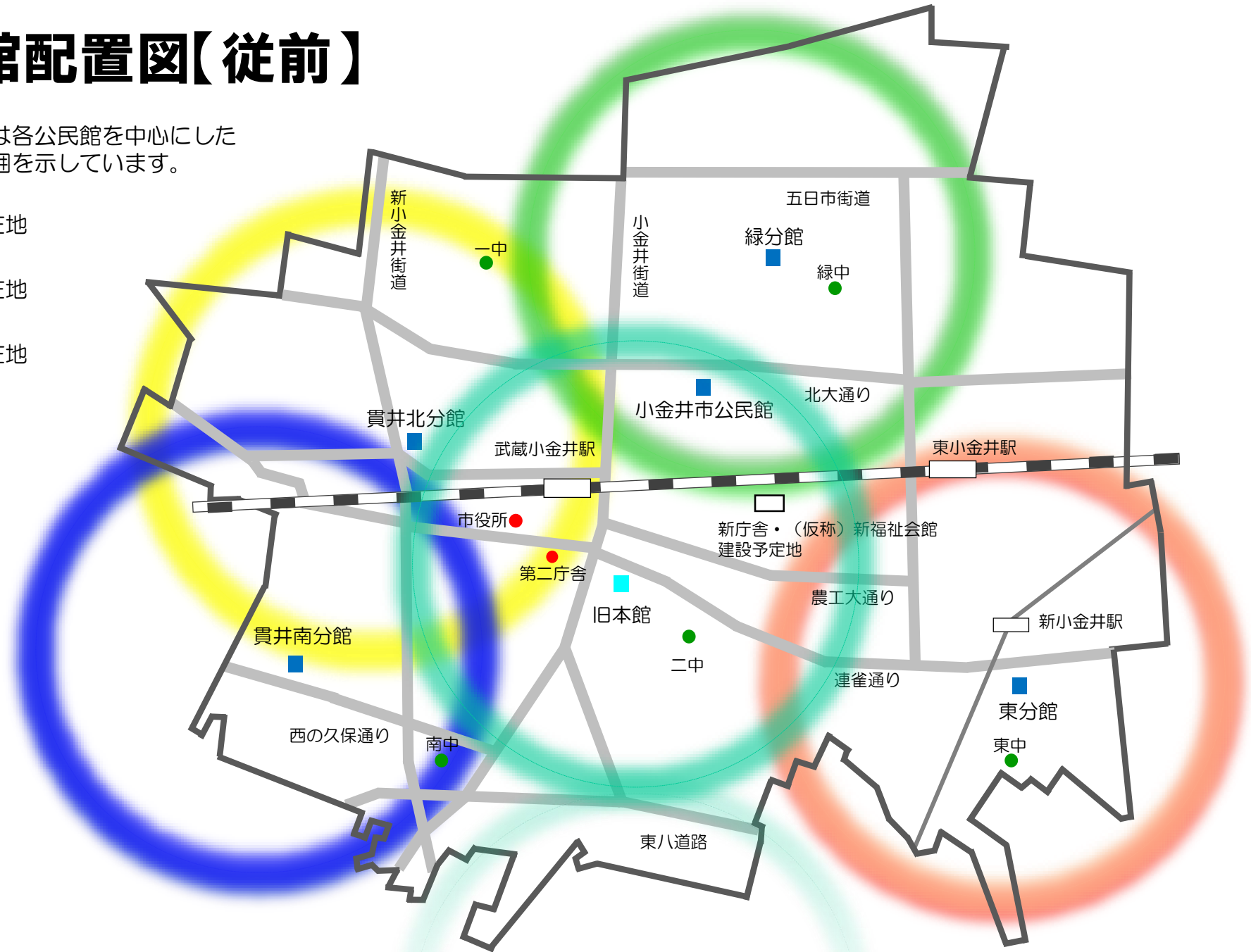
公民館の機構



公民館配置図【従前】

配置図上の円は各公民館を中心にした半径1kmの範囲を示しています。

- 公民館所在地
- 旧本館所在地
- 中学校所在地



公民館配置図【現在】

配置図上の円は各公民館を中心にした半径1kmの範囲を示しています。

- 公民館所在地
- 旧本館所在地
- 中学校所在地



企画実行委員制度

・企画実行委員制度の変遷

参考:昭和38年枚方テーゼ、昭和40年下伊那テーゼ、昭和49年三多摩テーゼ

1953年 (昭和28年)	1968年 (昭和43年)	1980年 (昭和55年)	1992年ごろ (平成4年)
<p>公民館条例制定(28・4月) 館長のもとに、公民館の 行う各種事業の企画及び 実施に当たる企画実行委 員を各部に置いた(委員は、 団体推薦)</p> <p>・構成 社会部(12名) 文化部(9) 産業部(9) 体育部(9) 視聴覚教育部(5)</p> <p>*成人学校、成人式、文化 祭の企画、実施 受動的学習</p>	<p>公民館本館が福社会館に 移転、条例の全面改訂 企画実行委員制度を明確 に位置づけた</p> <p>設置目的、任期、報酬、 身分、構成変更等、</p> <p>・構成 成人教育部門(12) 青少年教育部門 文化活動部門(10) 視聴覚ライブラリー 部門(10)</p> <p>・任期2年×3、特別職</p> <p>*部門別講座の企画、実施 ⇒⇒⇒能動的な学習</p>	<p>地域に根ざした活動 を行うため、各館6名 配置とする</p> <p>・事業内容 少年教育事業 青年教育事業 成人教育事業 文化活動事業</p>	<p>企画実行委員は、団体推 薦から、公募市民も可、現 在はすべて公募市民 市民の成長? 市民活動団体の変 化? 現在は、ほぼ定員を満た す応募あり</p>

・企画実行委員の役割

1968年(昭和43年) 公民館条例21条全面改訂

1 役割

- ・公民館が行う各種事業の専門的な調査研究並びに企画実行にあたる
- ・公民館事業に理解と熱意を持ち、積極的に活動する意欲のあるもの(平成4年改正)

2 選出基準

任期 2年(3期まで)、市の特別職、報酬あり
公募 市民団体の推薦から市民公募へ
教育委員会の同意を得て教育長が任命

3 任務 (市民参画・職員との協同企画)

- ・公民館主催事業の企画、運営
企画及び当日の会場設定、受付、講座の振りかえりを行い、次の講座につなげ、人づくり、課題解決、地域(居場)づくりへと発展させる
- ・準備会、各種定例会、各種行事への参加

4 心得:地域に貢献できる企画実行委員を目指す

- ・自発的な日常の学びと情報収集
- ・目標は、社会を耕すための活動
- ・現場を体験し市民ニーズを知り、地域づくりの参考にする
- ・地域の現実を見つめ、市民の関心事、地域課題を学習テーマとして学び、人づくり、地域づくりへ

参考資料

2009年12月第47回東京都公民館研究大会

「小金井市企画実行委員制度」(末包房子)

*1973年 小金井市消費生活相談員 1990年小金井市女性海外派遣事業

2017年1月「月刊社会教育」

「小金井市公民館の実践活動」(菅沼七三雄)

1 公民館主催事業の企画・運用方式総括(令和元年度)

	概 要	講 座 数
企画実行委員と職員により企画運用される講座	少年事業(5)、青年事業(16)、成人事業(62) 図書館との連携事業(7)、みんなの会(1) (*職員のみで企画する講座 みんなの会等数件を含む)	91件
準備会方式による講座 公募の市民、企画実行員と職員により企画運用される講座	開催回数が多く、毎年開催される講座が対象。 ・各館で開催される高齢者学級(年間15回開催) ・本館のシルバー大学(現市民アカデミー)(前後期合わせて14回) ・子供の人権講座(5～7回) 他3件	10件
市民が作る自主講座 市民のみで企画運用する講座	平成14年、従来の公民館活動を拡げるために、市内で活動している団体・個人が、自分たちで企画運営する講座。公民館本館の主催事業。講師代、会場の手配、広報は、公民館が支援。	21件

1-(2) 準備会方式 ・ 設立の経緯

東京都の動き・学級準備会

・昭和40年代に入り、市民主体の学級づくりについて、東京都社会教育委員会議の「市民教育の在り方」の答申では、以下を提案。
一市民は知りたいことを知り、学びたいことを学ぶー

- ①学級講座づくりの主体は、市民
- ②企画準備の段階に市民が参画する
- ③内容の編成に当たり市民主体の組織を作る
- ④市民のなまの生活課題や学習要求重視
- ⑤上記により職員のあり方や姿勢が問い直される

小金井市の動き

- ・左記の動きに対し、小金井市では**準備会方式**と称して、**公募市民、企画実行委員、職員**で試行した。
- ・1983年(昭和58年)公民館各館(5館)で準備会方式を採用した**「高齢者学級」(年間15～20回)**を開始
- ・1992年(平成4年) 今後、増加する高齢者の学びを大学レベルで行いたいとの市民の要望に応じて、本館に新たに準備会方式の**「シルバー大学」(15回)**を、開設
- ・2007年(平成19年)東京都の補助事業の人権講座枠に市として応募採用され、2008年から開始の**「子どもの人権講座」(6回前後)**も準備会方式をとっている。
- ・他3講座も準備会方式を採用
- ・一方、市民講座、まちづくり講座等中断した講座あり

・準備会方式の概要とメリット

準備会方式の概要

1募集 市報、月刊こうみんかん等に記載

2対象 興味のある市民はだれでも参加可

3参加者 市民+企画実行委員+事務局

4内容

- ・上記参加者により、企画案を検討決定
- ・講師、会場の調整等は、事務局
- ・当日の運営
- ・講座終了後、反省会の実施

*2018年・第58回社会教育研究全国集会

日本の社会教育実践「シルバー大学の学びと職員の役割」(長堀 雅春)参考

準備会方式のメリット

1今まで、公民館活動に縁のなかった**市民の社会参加の窓口となる。**(人材の発掘)

2地域づくりの人材の成長、養成

講座の組み立ての過程で、**対話**を通じて自己の考えを述べ、他人の考え方・多様性を知り、講座の組み立て方を学び、受付、司会、反省会を通して、自治を学び、**新たな自己を見つけ、その後のグループの核になる人が育成され、活動団体結成へと結びつく**

3**企画実行委員の卵の養成**にもなる

4色々な価値観の世代の市民が集まり、対話を通じ、市民、地域の課題を具体化した魅力ある学びのテーマの講座となる*

5上記過程の経験が、職員の専門性等実力の養成にもつながる。

1-(3)市民が作る自主講座

・概要

2002年(平成14年)開始、従来の公民館活動を拡げるために、市内で活動している団体・市内在住・在勤・在学の個人が自分たちで企画運営する講座

・講座内容

広く市民を対象に、地域の社会教育振興を目指す公共性のある地域または生活の課題を取り上げる

・公民館の支援(公民館主催事業と位置づけ)

公民館施設の優先予約 謝礼の負担(講師、保育)

市報、市ホームページへの掲載

・講座数枠(令和元年度)

一般部門(20枠)、男女共同参画部門(20枠)

・公民館運営審議会の意見を聞き、館長が決定

*結成後間もなくのグループの育成の仕組みが必要

ゆるっとママ(町田市)、防災グループタンポポ(国分寺)

一般部門	一般部門	男女共同参画部門	男女共同参画部門
篆刻サークル小金井	篆刻を始めよう	聞いて聞いての会	話す力・聞く力・読む力を磨こう
小金井市合唱団連盟	みんなで市歌を歌おう	みんなの家	時短・簡単・クッキング
小金井どこでもぼっやぼっや隊	ポッチャを楽しもう	さんかく会	子育て 仕事 保育園選び
公民館のあすを考える会	すくすくガーデン 親子で学ぶタネをまこう	はけの道父母の会	子供の心のケアを考える
沖縄に出会う連続講座実行委員会	琉球・沖縄に出会う連続講座	桜もより会	子育て中の家族のための家事と家計の講座
クリスタル	江戸時代を代表する芸能と文学	のびのび子育て	ココロと身体で感じる子育て
オリンピアと語り合う会	オリンピアを囲むカフェへ招待	思春期mama	ドイツ・スエーデンの子どもたちの話
文庫連	遊びとお話の達人	小金井女性ネットワーク	小金井の街から知ろう変えよう「女性と子供の生きづらさ」
「教育って何だろう」小金井連絡会	今、道徳に授業はどうなっているの？	オフィスTA・KA・KO	対話を大切にする国デンマークで学生が学んだこと
ハケの自然と文化を守る会	武蔵野・ハケを語る	もぐもぐごっくん	これいいね 日本の食卓

まとめ(公民館とは)

1 公民館は社会教育の実践の場であり、「市民がつどい、学び、つながる地域の拠点(ひろば)」。学びが公民館活動の原点。

コロナ禍で公助の貧困が露呈。今後、益々、共助が重要。⇒公民館

2 公民館での学びの仕組み

- ・本来、公民館の主催事業は、その講座の企画、実施を通して、参加者に何らかの化学反応(新しいきずき、課題解決の糸口、自己成長)を起こさせる講座であること、そして、講座受講後、参加者間に共通認識、意識が芽生え、人づくり、活動団体結成、居場所づくり、地域づくりまでに至るのが望ましい。
- ・このために、市民と協同し、市民の問題意識、地域課題を主として企画・実施し、講座の振り返りを行い、次につなげる仕組みづくりが大切である。
- ・事務局は、支援、助言、全体調整を行う。また、地域の実情を把握し、各種団体の支援、公民館活動のためのよりよい環境づくりを行う。

まとめ(市民と職員の協同)

「新しい公民館を目指して」(三多摩テーゼより)

第2部 公民館職員の役割 Ⅲ職務内容より

- ・「公民館は、まさに住民にとっての大学としての役割を果たさなければなりません。公民館における学習は、すべて住民自身が住民のために行うものですから、基本的にはその学習内容は、住民自身によって編成されるべきであり、職員の役割は、それを援助していくこととなる」と述べられている。

公民館活動 : 市民と職員は車の両輪(* 差動歯車付き)

- ・公民館における学習は、市民と協同で行われ、市民が企画編集し、職員は、それを支援、助言、全体調整等を行うことが原則。
- ・このためには、常に事業を通じ市民、市民の代表たる企画実行委員の人材の発掘、更なる実力向上、前向きな意欲が望まれる。
- ・職員は、事務局として、主催事業の援助、助言、全体調整、各種団体への支援等、活動しやすい環境づくりを行うことが重要である。

參考資料

1 公民館の役割

3 さらにより多くの市民が集う地域の拠点とするために(原点に戻って)

(1) **人づくり、人材の養成と発掘***

・積極的に公民館活動に携わる市民の発掘と養成

準備会方式、企画実行委員制度等の仕組みの活用、ボランティア養成

・知識と熱意のある職員の継続的配置、養成(制度化)*

(2) **はじめの一步**:市民が公民館を知るきっかけづくり、良さを知ってもらう

家庭への個別情報発信(市報、月刊こうみんかん)、市のHP、**NET配信***

気楽に集えるロビー等の充実、公民館まつり、展示会、発表会等の開催

(3) 多様な学習課題への取り組み(より質の高い学び、テーマ選定が大切)

地域、公共の課題、子供、育児中の親に関する課題、文化歴史

(4) 新しい活動団体の育成のための仕組みづくり

(5) 市民の声を反映する体制の充実

利用者懇談会、地域会議、他市の公民館事業企画委員会等参考・・

(6) 学校、家庭、福祉等の地域の諸団体との連携

(7) **公民館と市民の双方向の情報発信(WiFi環境の整備と活用)**

(8) **資料室の整備(市関連資料、都公連関連資料、社会教育関連資料等)**

2 他市の活動事例

今まで述べてきた小金井市の活動の仕組みは、一部の市民が参画する仕組みであり、より多くの関係団体の声を反映する仕組みが弱い。

そこで、この点を仕組化している都公連加盟市の小平市・国分寺市の活動を学ぶことにした（平成29年市民が作る自講座にて）



平成 29 年度・小金井市公民館本館・市民が作る自主講座

地域をむすぶ公民館活動

公民館は、地域とともに歩み、市民主体の学びを通じ、地域課題の解決に向けて活動してきました。

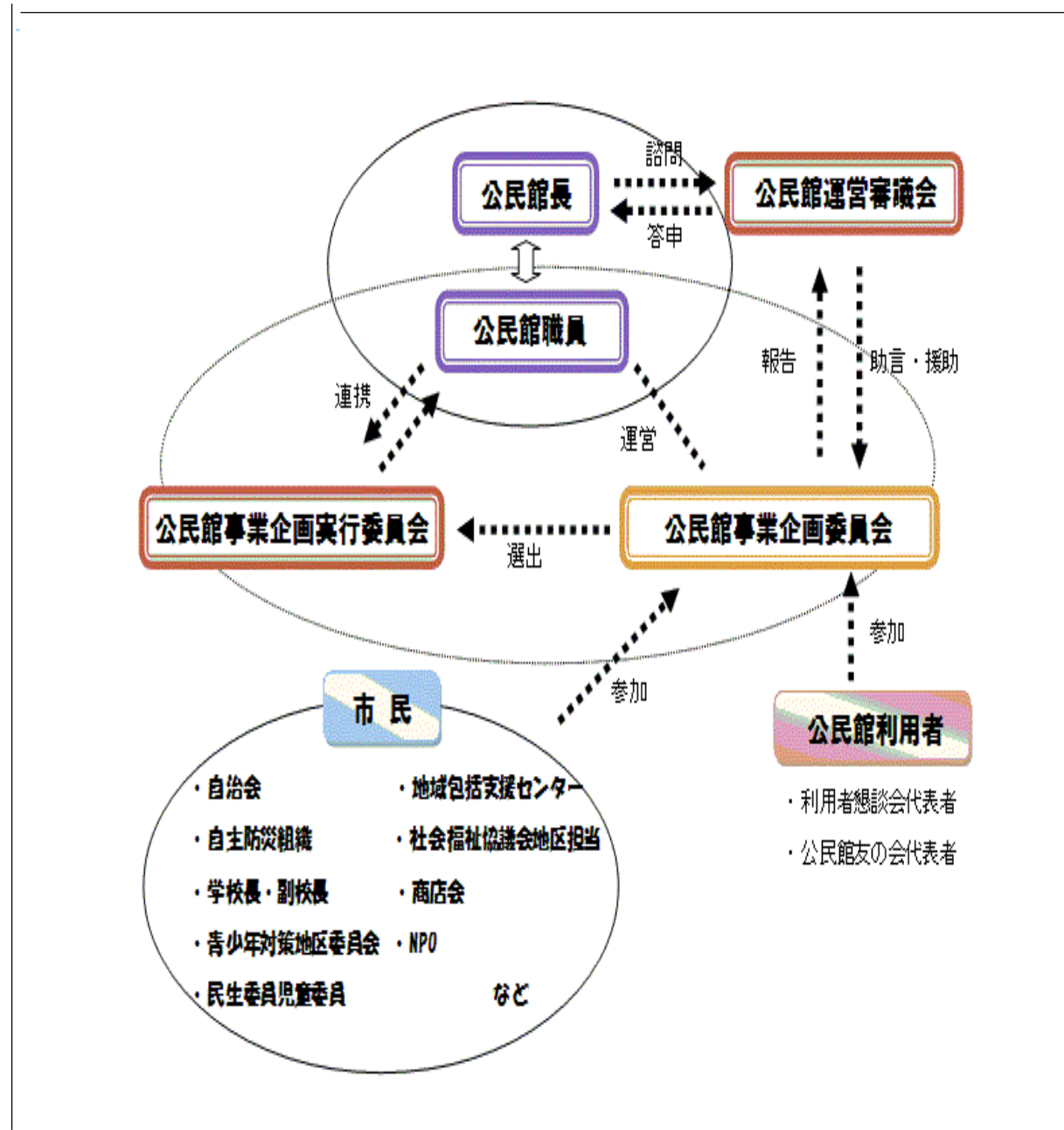
- ・地域の拠点として、さらに、市民、学校、諸団体との連携(ネットワーク)の強化が必要です。
- ・この講座において、他市の活動事例を学び、公民館活動について話し合ってみよう。

日 程	内 容	講 師
1 月 30 日(火) 14:00-16:00	基調講演 「地域をむすぶ公民館活動」	田中 雅文さん (日本女子大学教授)
2 月 13 日(火) 14:00-16:00	・事例発表 国分寺市:本多公民館の「地域会議」、 「地域と学校と子供たち」の 紹介 小平市 :公民館事業企画委員会の 設置とその後の経過 ・グループ討議	木葉 理恵さん (国分寺市本多公民館職員) 中川 稔進さん (小平市鈴木公民館事業企 画委員会副委員長) (ケアータウン小平・職員)

2 他市の活動事例

・小平市:公民館事業企画委員会

- ・公民館を「学習施設」だけでなく、「地域のコミュニティづくりの拠点」と位置付ける
このため、**地域のリーダーとの継続的なつながり**
地域住民の意向を適切に反映した公民館運営
を目指し、「公民館事業企画委員会」を設置
- ・平成26年度、鈴木公民館をモデル館として
事業企画委員会を設置、**現在は各館に設置**
- ・**構成は13名**(公民館利用者3名、市民代表10)名
- ・**内容**
 - 1生活課題・地域課題の取り組む人材の育成・発掘を推進する講座
 - 2サークル活動による学習成果を地域に還元するための事業の企画
 - 3住民の意向や意見を聴取する機会の設定等



2 他市の活動事例 ・国分寺市・地域会議

平成12年 本多公民館運営審議会は、週5日制への移行にともない子供の居場所づくりを審議し、「市民に期待される公民館事業～公民館と青年について」の建議を提出

平成14年3月 **地域会議の発足**

(本多公民館運営審議会と公民館の共催)

・ねらい

公民館を拠点に地域が子どもから大人まで、ともに育ちあい、豊かな関係を作る。このため、**地域の子どもに関する人たちで、意見を出し合い大人も子ども町づくりの一員となる**

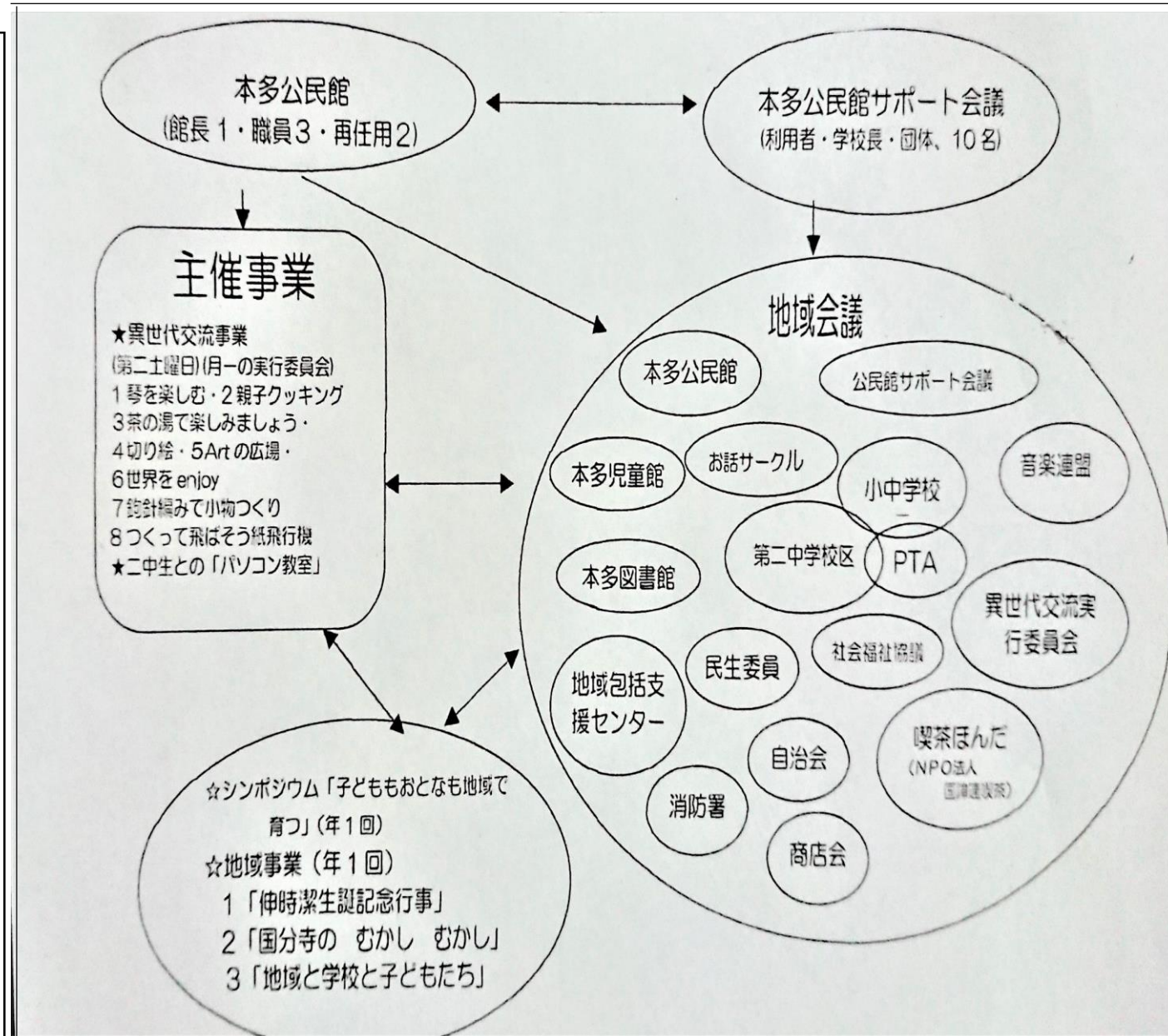
・内容(地域会議が取り組んできた事業)

互いの活動の取り組みの情報交換

シンポジウム:子どもも大人も地域で育つ

地域協働事業:信時潔 生誕120年記念行事

異世代交流事業 準備会による活動



・花開く市民活動の始まり(昭和40-50年代)

時代背景:昭和30年 小金井市人口3万人、45年 9万人 人口増、都市化
従来の地域社会を支えた包括的な地域団体からの機能分化が起こった。例:婦人会
学び(公民館)、ボランティア、福祉(社会福祉協議会)環境等の公共の課題(例:婦人有権同盟?)

婦人会・婦人学級の歩み

1952年(昭和27年)小金井婦人会創立(260名)
昭和29~31年 文部省・稲取で「実験婦人学級」
開設。以降各市町村に開設促進
昭和38年 小金井市公民館で婦人学級開設
昭和42年 学級運営などを学びたいと、東京都主
催の「**婦人リーダー研修**」等に参加
***定員1名に対し、職員の努力により10名参加**
婦人の学習グループ「**やよい会**」等多数誕生
昭和47年 例:「**老後問題研究会**」設立(35年継続)
老後の主婦の年金問題、リハビリ施策等提言
昭和50年頃 **市よりリハビリ相談室の委託を受ける**
以降、婦人学級は、女性学級に受け継がれた
***参考資料 老後問題を考える・5年間の記録**

青年団・青年学級・障害者青年学級の歩み

昭和20年代 全国で青年団員400万人
昭和27年 青年団活動:演劇、歌謡、弁論大会、ダンス
昭和32年 「**青年学級**」開設
青年学級:青年団の夜学会と公民館活動が結びつく
***30年代後半より、都市化等により青年団活動下火**
昭和47年「**小金井手をつなぐ親の会**」より、障害者のた
めの青少年活動の開設の請願あり。公運審の答申
昭和50年 青年学級「**みんなの会**」開設
昭和53年までに、12市開設、
同年、小金井市南中学で12市合同運動会開催
現在も「**みんなの会**」(年22回開催)
講師、職員、ボランティア市民 20名くらい

老後問題研究会・活動風景

(老後を考える集い)

講師:一番ヶ瀬康子氏



(老人施設訪問)

有料老人ホーム・サンメヂック(s54.11) 立川至誠老人ホーム(s53.10)



(介護の仕方の勉強会、s56)

半身不随者の介護の仕方 小金井市内聖ヨハネ会
(入浴サービス)



(リハビリ相談の開設)

リハビリ相談室の開設 リハビリについて都庁に要望書持参
(毎月第4水曜日)



小金井市・公民館講座等から生まれた市民活動団体

	活動団体名	きっかけとなった講座	活動経緯と現在の活動
1	小金井・ 老後問題研究会	昭和 42 年公民館婦人学級「地域の中での婦人の役割」に参加。自分たちで、やってみようと自主 GR をたちあげ 昭和 46 年婦人学級「老後を考える」(10 回)はじまる 昭和 47 年「老後問題研究会」発足、35 年継続 昭和 48 年「婦人学級「女の生き方」(10 回)開際 以後老人支援のための諸活動、要望書の提出。	・毎年、自分たちで婦人学級の開催、リハビリ公開講座等 ・昭和 48 年老人支援についての要望書の提出 老後の主婦の年金問題、一人暮らし老人、在宅寝たきり 老人対策、治療リハビリテーションセンターの設置等リ ハビリ関連の要望 月 1 回の「リハビリ相談」実現(市の委託事業)
2	NPO 法人「こがね い子ども遊パーク	平成 14 年公民館講座・女性学級「子育ては未来育て」の 参加者により「こがねいにプレーパークを作る会」発足。 同講座からは子育てを応援する情報誌、親子サロンも誕 生。任意団体として、子どもの自由な遊びを保障するプ レーパーク事業からスタート	・当初は武蔵野公園、学芸大学のいけとおがわのプレーパ ーク事業。その後プレーパーク事業を核に、親子広場、 冬場の体験学習「里山塾やまとや」等を展開 ・平成 21 年 NPO 法人認可 ・平成 27 年「プレーパーク事 業」は 小金井市の冒険遊び場事業の委託対象となる。
3	クリスタル	平成 8 年・公民館講座「シルバー大学」の受講者有志の より、年間を通して学習グループを結成	・毎月 2 回の学習会を開催。 今年で創立 25 周年となる。 ・市民が作る自主講座に応募、広く市民が参加している。
4	東こども囲碁の会	平成 21 年公民館を利用している「黄金井烏鷺の会」が中 心となり、「ひがし子供囲碁教室」を企画運営	・通年、毎週土曜日・小中学校生を対象に実施 ・囲碁を手段として、日常生活の基本、しつけも教育。
5	みどり剪定サーク ル	平成 14 年緑分館講座「庭木剪定入門」の趣向者が主体 となり発足、市の環境美化の貢献、講座は毎年続行	・市の公共施設の植樹、選定を行い、緑の環境美化に努 めている。小金井詩織市民功労章を受ける。
6	公民館のあすを 考える会	平成 24 年、旧企画実行委員、公運審委員、社会教育委 員等により、公民館活動をより実りのあるものにするた めの活動を主体に立ち上げ	・毎年、市民が作る自主講座を開催し、広く、共通の問題 意識を持った市民とともに、学び、今後に結び付る。 ・提言書の提出

- 公民館の設置（地域密着型5館体制）

1949年(昭和24年)社会教育法にて公民館の法制化

1952年(昭和25年)全国公民館職員講習会を浴恩館で開催、**この時、
全国公民館連絡協議会等の結成が決定**

1953年(昭和28年)**公民館の設置**(旧町役場の建物利用)*

条例にて教育委員会、館長、公運審委員、企画実行委員設置

1958年(昭和33年)小金井市制施行

1968年(昭和43年)**公民館を福社会館内(3,4階)に設置**

1973年(昭和48年)本町分館設置(公民館のみ)(都営住宅内)

貫井南分館設置(公民館、児童館*)

1988年(昭和63年)東分館設置(公民館、図書館)(都営住宅内)

1991年(平成3年) 緑分館設置(公民館、図書館)(青少年センター)*

2014年(平成26年)貫井北センター設置(公民館、図書館)

2016年(平成28年)**老朽化により福社会館閉鎖、本館を本町分館に移
設、本町分館は休止**

